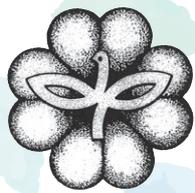


民生委員・児童委員



たより

発行 亀山市民生委員児童委員協議会連合会
編集 連合会広報部会
亀山市羽若町545(総合保健福祉センター内)
☎0595(82)7985

もくじ

各地区の活動紹介	2・3
主任児童委員の活動紹介	4
お持ちですかお薬手帳	5
高齢者実態調査のお礼と報告	
お元気さん紹介、元気な子どもたち	6

「地域福祉の担い手として」令和6年度の活動がスタートしました。

令和6年元日の能登半島地震により、お亡くなりになられた方や被災された方に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

災害はいつどこで起こるとも限りません。私たち民生児童委員も災害時、どの様な活動が出来るか？自らの安全確保をして、地域の皆様に何が出来るのか？を常日頃から考え、心構えをしておかなければと思います。

近年「ひきこもり」「ヤングケアラー」等、地域の皆さんや子ども達を取り巻く環境も変化し、福祉課題は多様化・複合化しています。このような中、私たち民生児童委員、主任児童委員は、今年度も研修を積みながら、地域福祉の担い手として、相談役として活動してまいります。お気軽にご相談ください。

亀山市民生委員児童委員協議会連合会会長 小林 智子

地域の人たち

心配ごとがあるけど
相談先がわからない



介護で
悩んでいる



生活に困っている



支援や
関わり

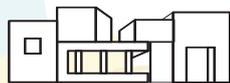
①見守る

②相談相手になる

支援や
関わり

③つなぐ

③つなぐ



市町社会福祉協議会・
地域包括支援センターなど

民生委員・児童委員

市役所・町役場
福祉事務所、福祉や
子育ての担当課など

私たち民生児童委員は

地域で安心して暮らせるよう、生活の困りごとを聞いたり、市役所や「あいあい」などの相談先を伝えたりといった活動をしています。また、子どもの見守りをしたり、子育てについての相談にのったりもしています。

みなさんの困りごとを聞いて、専門機関につなぐパイプ役をしているよ。民生委員・児童委員キャラクターのミンジーです。よろしく。



出典：三重県

お知らせ

下記の方が民生児童委員に着任されました。(敬称略)どうぞよろしくお願いたします。

* 駒田 正彦 (担当:南鹿島・南鹿島西) 1月1日付 * 若林 美津枝 (担当:椿世町・新椿世他) 4月1日付

また、3月末をもって、安藤 重夫さん(担当:椿世町・新椿世他)が退任されました。長い間ありがとうございました。なお、後任は若林 美津枝さんです。

※「民生委員・児童委員たより」におきましては、字数の都合も含め、民生委員・児童委員を「民生児童委員」と表記させていただきます。

各地区の活動紹介



「北淡震災記念公園」視察研修

〈5月22日、24日〉

今回の視察研修は淡路市にある「北淡震災記念公園」に行きました。屋内保存されている野島断層を見学したり語り部の方のお話を伺いました。

阪神・淡路大震災(平成7年1月17日)で北淡町(現在は淡路市)では3分の2の家屋が倒壊し死者37名、行方不明者300名の被害を受けました。しかし、消防団員560名(11,000人の住民に対して高い割合)元消防団員500名、民生児童委員33名の協力、活躍により夕方には生き埋めになっていた住民を全員救出できたと言うことです。

それには ①台風時の経験から、普段民生児童委員が見守りを行っている高齢者や障がい者などの名簿を消防団員も共有していたこと ②地域のコミュニティがしっかりとしており住民がどこの部屋で寝ているかも把握していたこと 等が挙げられると思います。

今、個人情報の保護が優先されている現状がありますが、近所の人と仲良くし普段から地域のコミュニケーションを大切にすることで被害を最小限に止めることが出来ます。私たち、民生児童委員は地域住民の一番身近な存在として活動していきたいと思っています。



地震直後の台所



民生委員制度創設100周年記念フォーラム

〈3月21日 三重県総合文化センター 大ホール〉

3月21日民生委員制度創設100周年記念フォーラムに亀山の民生児童委員が参加してきました。

フォーラムは一部・二部形式に分かれ、一部は「共育(ともいく)と協働(きょうどう)の大切さを知ろう」と題した泉 恵造氏による講演と二部が昨年行われた「これからの100年を視野に入れたインターンシップ制度の参加者によるこの制度」の体験談、参加した感想を取り上げた内容でした。

今回、取り上げたいのはこの「インターンシップ制度」の事です。

この制度は、事業実施の目的として学生が、民生児童委員活動に対する理解を深め、地域福祉の現状や課題を学ぶことにより地域福祉活動への関心を高め今後の学びに活かすことの出来る機会を創出することで、民生児童委員活動の認知度向上や、地域福祉の将来的な担い手確保に繋げることを目的としています。

実施地域としては、四日市市・鈴鹿市・津市・伊勢市の4都市14か所によるもので、参加者は64名でありました。実施内容は、高齢者との食事会、定例会視察、高齢者訪問、子ども食堂視察等であります。今回参加した学生の、その日の感想は「民生児童委員がこれほどまでに地域に密着し見守り等の活動を行っていることに驚き、興味を持つことが出来るようになった」等の好意的な意見が多かったのは、大きな収穫と言えるのではないでしょうか。



又、一回目より64名の参加者があった事に学生の民生児童委員への関心度が高い事と、参加理由のトップ項目には活動内容に興味が高いことに注目します。これから100年後の民生児童委員制度を考えた場合「暮らし」はどう変化していくのか？又2040年問題をどう乗り切っていくのか？課題を取り上げれば切りがないが、このインターンシップ制度に一つの光明が見えたように思えたフォーラムでありました。



出来ました!! 西部地区民児協 オリジナルDVD 『民生委員・児童委員って?』

2021年、コロナ禍でそれまで恒例だった、小学校を訪問して紙芝居を見てもらったり、対面で各地区担当の民生児童委員が自己紹介をして顔を覚えてもらったりする活動が出来なくなり、それを補うものとして初めてDVD『みんせいいいんって? 民生委員って』を作り、小中学校や地域のコミュニティセンターへ配布しました。

あれから3年、各学校で6年生の授業に活用してもらったり、関心のある人にはスマホで見てもらえるように二次元コードを付けて「民生委員・児童委員たより 第32号」で紹介したりしましたが、2023年の一斉改選で民生児童委員も大きく顔ぶれが入れ替わり、内容もさらに充実させたいとの思いから、今回第2弾を製作することになりました。

何度もシナリオを書き直したり、写真や動画を撮り直したりとそれなりの苦労もありましたが、新年度を迎える2024年4月やっと完成に漕ぎ着けました。

昨年度からコロナも5類に移行し再開した学校訪問などの機会に大いに活用し、子どもたちや地域の人たちに民生児童委員のことをもっと身近にもっと親しみやすく理解して頂くためのツールになればと思います。

興味のある方、ご覧になりたい方は地域の民生児童委員までお問い合わせください。



子どもたちとの触れ合い

関地区には関小学校、関中学校、加太小学校があります。民生児童委員として子どもたちの見守り活動を朝の挨拶運動、下校時のぼかぼかパトロールを行っています。

登下校時の「おはようございます」「ただいま」と返ってくる言葉は短いですが、子どもたちの笑顔と元気な声に心が和みます。

また、小学校へ出向き六年生を対象に民生児童委員の活動と役割を紹介する紙芝居を披露しています。この活動では直接子どもたちと意見交換をすることにより民生児童委員への理解が深まりました。

今後も関地区民生児童委員は子どもたちと触れ合う機会を増やし、子どもたちとの繋がりを密にして地域に貢献したいと思います。



朝の挨拶運動



小学校への出前授業(紙芝居)

主任児童委員は地域の子育て応援団

鈴鹿・亀山主任児童委員研修会 宮川医療少年院を参観して

1月17日(水) 鈴鹿社協のバスに乗って、宮川医療少年院(伊勢市)の参観に行きました。

数年前「ケーキの切れない非行少年たち」という本が話題になりました。著者の児童精神科医、宮口さんは宮川医療少年院に着任し、発達障がいのため、ケーキを等分に切ることができない少年たちと出会いました。少年たちが生きていく上で、社会生活で困らない力を身につける方法を模索し、様々な工夫されてきた取り組みが書かれています。

集会室で副院長さんから、ここに来る少年たちは学習や運動が苦手な自己肯定感が低いまま社会に出て、就業後も適切な訓練が受けられず、ついには犯罪を起こしたと、彼らには身体感覚を強化し、認知機能を高めるトレーニングをすることで体の動きや描画が変化し、作業や学習への意欲が出てくることをお聞きしました。その後、作業室や面会室などを案内していただきました。

最後に居室横の通路を通った私たちに、少年たちから元気な「こんにちは」と挨拶の声がかかりました。(※他の少年院等では、見学者への言葉かけは認められていないそうです) やがて、社会に戻る少年たちが自然に挨拶することを受け入れてみえるそうです。それをお聞きし、温かい気持ちで少年院をあとにしました。

地域とのつながりを大切に(加太小学校)

豊かな自然と文化的・歴史的な教育資源、地域人材に恵まれた加太小学校では、長年にわたり地域とつながり、地域とともにある学校を目指した教育活動が行われています。児童は全校31名、殆どの児童がバス通学をしています。そして、多くの地域の方や私たち主任児童委員、民生児童委員がバスの乗降の様子や学校前の横断歩道の渡り方など児童の安全を見守っています。

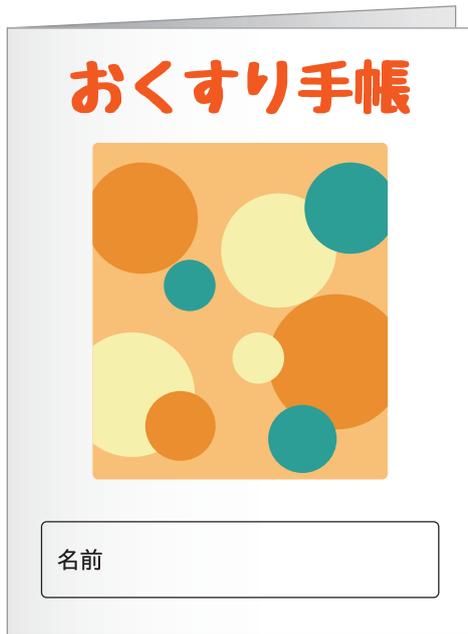
昨年度、PTAや自治会から通学路の安全確保のため、学校前横断歩道の移設を要望しました。その後、PTA、自治会、地域、警察署など関係者による要望箇所の合同点検を経て、横断歩道が移設され、より安全に道路を渡れるようになりました。また、コロナ禍で規模を縮小していた加太秋まつりが4年ぶりに開かれ、加太小学校の児童が町探検や食に関わるふるさと学習、見守り活動などで日頃お世話になった地域の方々に感謝の気持ちを伝える学習発表をしたり、地域の方にお世話になって収穫したサツマイモやもち米の販売などを行ったりしました。

このように、子どもたちは様々な場で地域の方々とふれ合い、地域の方に温かく見守られながら健やかに成長しています。今後も地域住民の結びつきや地域と学校をつなぐつながりを大切にしながら、子どもたちが安心・安全に過ごせる加太地区を目指していきたいと思えます。

横断歩道の移設



お持ちですか？おくすり手帳



こんな時、役に立ちます



薬局での確認、診察時はもとより



医療・介護の相談、急病や震災時にも

- * おくすり手帳は、処方された薬の名前・飲む量・回数・注意すること等を記録するものです。薬局に行くと無料でもらえます。一人一冊作っておきましょう。
- * 病院、歯科、薬局に行くときは、毎回忘れずに持っていきましょう！過去にかかった病気や服用して具合が悪くなった薬の名前、アレルギー等の情報も記入できます。また、医師・薬剤師に聞きたい事などをメモしておくとも役立ちます。
- * 常に携帯しておきましょう！ 災害、事故、急病時など緊急の場合に役立ちます。特に災害時には医療設備が十分確保されない中、おくすり手帳を所持されていた方へは緊急に薬を提供できたという事例もありました。
- * 必ず1冊にまとめましょう！ 病院、薬局ごとに分けてしまうと同じ薬の重複や副作用の再発を防ぐことや、不都合な飲み合わせがある薬を回避することが難しくなってしまいます。

執筆者：鈴鹿亀山薬剤師会理事 川崎薬局薬剤師 岡田 直

高齢者実態調査を終えて

昨年11月、民生児童委員活動のひとつである高齢者実態調査を行いました。

市から預った名簿と住宅地図を元に担当地区の高齢者のお宅を一軒一軒訪ね、家族構成・緊急連絡先・健康状態・日常のお困り事等を細かく聞き結果を市へ報告しました。家が分からず迷いながら又、不在で何度も足を運ぶ事もありました。不審者と思われないよう民生児童委員赤ベストの着用と身分証明証の携帯は欠かせません。

ご協力いただき調査した情報は市で解析され、今後の亀山市の福祉向上に繋がられるものと思います。調査のご協力ありがとうございました。

令和5年度実態調査対象者数

()は昨年度の数

65歳以上 13,478人(13,528人)

75歳以上 7,228人(7,039人)





お元気さん紹介

今回ご紹介するのは、
関地区のお元気さんです。



関町新所に
お住まいの

すぐり
村主 昭也 さん(94歳)

あきや
村主 洋子 さん(90歳)

元気の秘訣は、ほとんど毎日、往復2～3km歩いていきます。天気の良い日は、二人で一緒に歩くようにしています。70歳まで歩こう会に入って、高さ1,000m級の山歩きをして足を鍛えたおかげで、現在も丈夫に過ごされています。二人の楽しみは、10日に1回ぐらい、孫と曾孫が遊びに来てくれる事、近所の人と一緒に公民館で色々な講師の話しを聞くことです。

関町鷺山に
お住まいの

はやかわ
早川 正 さん(94歳)

ただし
早川 和子 さん(90歳)

元気の秘訣は、現在も無農薬の野菜作りや庭木の剪定をしています。また日頃から前向きな考えで過ごし、ストレスをためないようにすることです。(正さん)

若い頃は、二人で花作りもしていましたが今は、趣味の手芸(パッチワークなど)や体力作りのため週一回のデイサービスに行き、くす玉も作っています。(和子さん)

今年、元気に結婚70年目のプラチナ婚を迎えることができました。三世代同居で家族みんなに大事にしてもらい、しあわせを感じています。



取材 2024年3・4月

元気な子どもたち!! 【川崎小】♪フレンドリークラブ♪

川崎小学校の子どもたちがとても楽しみにしている活動の1つに「フレンドリークラブ」があります。この活動は、趣味や特技をお持ちの地域の方々にクラブの講師を務めていただき、4年生から6年生が自分の興味のあるクラブに入って、地域の方と一緒に体験するものです。コロナ禍の数年は休止していましたが、20年以上前から続いています。今年度のクラブは全部で14種類あります。卓球やソフトバレーボール、ニュースポーツといった体を思いきり動かすクラブや、水墨画や尺八、詩吟、茶道など、日本の文化に触れることのできるクラブもあります。活動そのものの楽しさはもちろん、地域の方から優しく教えてもらったり、がんばりをほめてもらったりすることを、子ども達は何よりうれしく思っているようです。これからも、子どもたちと地域の方々と「フレンドリー」に関わることのできるクラブ活動の時間を大切にしていきます。



編集後記

令和5年度高齢者実態調査の実施に際し、皆様には調査に快くご協力をして頂き誠に有難う御座いました。調査の結果、亀山市は75歳以上の方が毎年少しずつ増加しており年々高齢化が進んでいます。このような状況の中、私たち民生児童委員は地域の高齢者の見守り活動の一環として友愛訪問を年に3回、75歳以上のお一人暮らし、お二人暮らしの方を対象に訪問させて頂いておりますが、高齢化によって訪問する対象者も年々増加しており、一人一人に寄り添いお困りごとや福祉サービスの利用に繋げる活動や支援等が満足に出来ない状況も課題となっております。これらを踏まえ、今後も行政や様々な機関と更に連携を深め、また皆様のご理解ご協力を賜りながら活動に努めたいと思います。